

OSS版VtigerCRM 概要説明資料

ユーザー数に縛られず、顧客情報と業務を全社で共有

株式会社アイプランナー

2026年9月

0円
/ user

CRM本体の月額
ユーザーライセンス費

CRM導入の壁は「費用・分断・定着」です

01

費用が増え続ける

1ユーザーごとの月額課金では、利用部門を広げるほど固定費が膨らみます。

02

情報が分断される

Excel、名刺、メール、部門別ツールに顧客情報が散在し、引き継ぎが止まります。

03

現場に定着しない

複雑な設定や英語サポートが壁となり、“導入しただけ”の状態になりがちです。

一部の営業担当だけが使うCRMでは、全社の業務基盤になりにくい。

VtigerCRMを核に、実用性と安心を重ねた構成です

01 OSS版 VtigerCRM

顧客・担当者・商談・見積・請求・保守を管理する基盤。
CRM本体のユーザーライセンス費は0円。

全社共有

02 VTExperts 拡張機能

カンバン、PDF帳票、条件付き表示など、多数の拡張から必要な機能だけを追加。

業務適合

03 アイプランナーの伴走支援

日本語化、要件整理、データ移行、教育、運用・障害対応まで国内窓口で支援。

定着・安心

低コスト × 業務適合 × 運用定着

ユーザー課金がないから、全社展開しやすい

0円

CRM本体の月額ライセンス費

5名でも50名でも、
ソフトウェア費用は変動しません。

営業部門

顧客・商談・活動履歴を共有

事務・バックオフィス

見積・受注・請求を連携

技術・保守

問い合わせ・対応履歴を蓄積

経営層

全社の状況を同じデータで把握

※サーバー、拡張機能、導入・運用支援の費用は別途必要です。

顧客接点から受注後まで、一つの基盤でつながる

集客・リード	営業・商談	受注・提供	請求・保守
Webフォーム	顧客企業・担当者	見積・受注	請求
見込客	商談	商品・サービス	問い合わせ
キャンペーン	活動・予定	発注・在庫	FAQ・対応履歴

顧客情報を起点に履歴がつながり、部門間の引き継ぎと経営判断を速めます。

入力・承認・帳票を、自社業務に合わせて整える

業務に合わせる

システムの型に業務を押し込むのではなく、現場の手順に合わせて段階的に設計します。

日々の使いやすさ

カンバン表示 / ダッシュボード / モバイル対応

01 入力を分かりやすく

項目・画面レイアウトを調整し、入力内容に応じて必要な項目だけを表示。

02 処理を自動化

ワークフロー、通知、承認の仕組みを組み込み、定型作業と漏れを削減。

03 帳票を日本仕様に

見積書・納品書・請求書を自社書式でPDF化し、CRMからメール送付。

SaaS型CRMとの違いは、全社展開と自由度

比較項目	一般的なSaaS型CRM	OSS版VtigerCRM + 伴走支援
コスト構造	ユーザー数・機能追加に応じて増加	CRM本体はユーザー数によらず0円
全社利用	費用を見ながら対象者を限定	部門をまたいだアカウント付与が容易
データ管理	提供事業者の環境・方針に依存	自社方針に合わせて環境を選択
カスタマイズ	標準仕様の範囲で早く導入	画面・帳票・業務フローを柔軟に設計
導入・運用	製品標準のサポート体系	日本語で設計・教育・定着を伴走

SaaSには短期導入・運用負担の小ささという利点もあります。要件と運用体制に合わせた選択が重要です。

インフラは、コスト・運用・セキュリティで選ぶ

コスト重視

推奨サーバーを直接契約

お客様が推奨環境を契約し、弊社が構築・設定を支援。サーバー原価で運用しやすい方式です。

運用を任せたい

弊社提供サーバー

契約・請求・運用窓口を一本化。環境準備や日々の管理負担を抑えたい企業向けです。

社内基準を優先

自社サーバー・既存クラウド

既存資産を活用し、独自のセキュリティ要件や社内運用ルールに合わせます。

導入前に、バックアップ・監視・権限・障害対応の責任分界を明確にします。

費用は「初期＋月額」で見通しを立てられる

初期費用

39万円～

環境構築・インストール・日本語化・
初期設定を一括対応

+

月額ランニングコスト

約5万円台～

- | | | |
|---|-----------|--------|
| 1 | CRMライセンス | 0円 |
| 2 | インフラ・拡張機能 | 約2万円台～ |
| 3 | 運用サポート | 3万円～ |

ユーザー追加によるCRM本体のライセンス費増加はありません。

※元資料(2026年3月時点)の参考価格。要件・環境・為替等により変動します。正式価格は個別見積もりです。

導入は6ステップ。定着まで伴走

01 要件整理・環境構築

対象業務と優先順位を整理し、環境を準備

02 拡張機能導入

必要な機能だけを選び、ノーコードで設定

03 カスタマイズ・帳票

画面レイアウトと自社帳票を設計

04 データ移行

Excel・旧CRMの項目を整理して移行

05 教育・トレーニング

管理者・利用者へ操作と運用ルールを共有

06 保守・運用支援

定着化、設定変更、バックアップを継続支援

優先業務から段階的に導入し、実運用の学びを次の設定へ反映します。

NEXT STEP

まずは、実際の画面と 自社要件への適合性を ご確認ください

01 デモ・無料トライアル

カンバン、ダッシュボード、モバイルなど、日々の操作感を確認できます。

02 無料相談・お見積もり

対象部門、業務範囲、既存データ、インフラ条件を整理し、最適な構成をご提案します。

株式会社アイプランナー

Vtiger認定パートナー

TEL

0120-006849

平日 9:00~17:00

WEB

<https://info.osscrmpro.com/>